

製品名: GABARAP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11244**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	GABARAPL2 FLC3A GEF2
別名	GABA(A) receptor-associated protein-like 2
遺伝子 ID	11345.0
SwissProt ID	P60520
免疫原	GABARAP の合成ペプチド AA 範囲: 26-75

背景

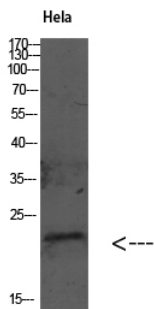
機能:ゴルジ体間輸送に関与する。NSF 活性と SNARE 活性化を共役させることでゴルジ体間輸送を調節する。まず NSF の ATPase 活性を刺激し、それが GOSR1 との会合を刺激する。PTM:DNA 損傷（おそらく ATM または ATR による）によりリン酸化される。類

似性:MAP1 LC3 ファミリーに属する。サブユニット:モノマー。GABRG2、NSF、GOSR1、 β -チューブリンと相互作用する(類似性による)。ULK1と相互作用する。組織特異性:普遍的。脳、心臓、前立腺、卵巣、脾臓、骨格筋で高発現。肺、胸腺、小腸では非常に低レベルで発現。機能:ゴルジ体間輸送に関与する。NSF活性とSNARE活性化を共役させることでゴルジ体間輸送を調節する。まずNSFのATPase活性を刺激し、それがGOSR1との結合を刺激する。PTM: DNA損傷時にリン酸化される(おそらくATMまたはATRによる)。類似性: MAP1 LC3 ファミリーに属する。サブユニット:モノマー。GABRG2、NSF、GOSR1、 β -チューブリンと相互作用する(類似性による)。ULK1と相互作用する。組織特異性: 普遍的。脳、心臓、前立腺、卵巣、脾臓、骨格筋で高発現。肺、胸腺、小腸では非常に低発現。

研究分野

オートファジーの調節;

画像データ



1:1000に希釈した抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈した。